

平成24年ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI  
参加者アンケートの主な意見・感想

感想・意見

《実施者と受講生との交流》

多数意見

- ・最初は不安があったが、先生や大学生がやさしく教えてくれたので自分でも実験できた。
- ・実験や研究についてだけでなく、大学などについても先輩方から話を聞くことができた。

《参加者の募集について》

多数意見

- ・もっとたくさん、ひらめき☆ときめきサイエンスを行ってほしい。
- ・小学校4年生の分野でも開催してほしい。
- ・とても魅力的な内容だったので、もっと宣伝すれば、参加したい人が増えると思う。

《将来・研究者について》

多数意見

- ・実験はとても面白かったし、勉強になった。明日からこの学部を目指すことに決めた。
- ・大変興味深い内容でおもしろかった。私も将来研究をしてみたいと思った。
- ・医学部進学をあきらめようかと思っていたが、がんばろうと思えた。
- ・まだ将来の夢が決まっていないので、こういうプログラムにたくさん参加して、いろいろなものを知り、何になるか考えていきたい。

《内容について》

多数意見

- ・高校生では体験することのできないような実験ができてとても為になった。
- ・新しいことを学ぶ楽しさを知ることができた。とても良い体験になった。
- ・とても楽しかった。またこのような機会があれば参加したい。
- ・知らない人や、知らない中学校の人とかと友達になれて良かった。
- ・まだ分からない部分もたくさんあったけれど、すごくおもしろかった。すごく科学に興味があった。
- ・授業や講義がちよっと難しかった。
- ・もっと時間が長いほうがいろんな体験ができていいなと思った。

その他意見

- ・放射線について詳しく知る機会というものはあまりないので、この企画に参加できてとても有意義な時間をすごせた。
- ・考古学のイメージが変わった。地道な作業の積み重ねが研究につながることに、追求していく根気が必要だということ、とてもよくわかった。
- ・脳梗塞の研究が、今後の脳梗塞の治療に活かされているというのが、よく分かった。マウスを使っただけの実習は、初めての経験でおもしろかった。
- ・中学生なので高校の内容を言われた時理解することができなかった。

平成24年ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI  
実施者アンケートの主な意見・感想

感想・意見

《募集方法について》

多数意見

- ・ ひらめき☆ときめきサイエンスの広報活動をさらに推進してほしい。
- ・ 科研費という存在を理解される事業として良い活動だと思う。公共広告のかたちでテレビ等でPRしてはどうか。

その他意見

- ・ 一部の優秀なやる気ある学生だけが集まるような今のシステムでは、未来の科学者を育成するための底上げ効果は低いのではないだろうか。

《プログラム実施について》

多数意見

- ・ 地域に対して成果を還元できる。後輩を育成する効果があるという点で良かった。
- ・ ひらめき☆ときめきサイエンスに参加して大変な面もあったが、その分来てくれた生徒さんたちが喜んでくれたのでとてもやりがいを感じた。

その他意見

- ・ 受講生にとっては科研費研究だけではなく、研究者や研究者になる前となる大学生、大学院生とコミュニケーションを行うことが出来る貴重な機会だと感じた。将来、研究者になる為の道筋や青写真を垣間見ることが出来たと思う。将来の有望な科研費での研究者を一人でも増やす意味でも貴重な機会だと感じた。
- ・ 実際に本事業を開催してみて、主催する側(研究者)の負担が大きいことを痛感した。しかも、高校生に楽しんでもらおうとすればするほど負担は大きくなる。その反面、高校生に直にふれあい、科学の興味深さを知ってもらうことができ、その成果も肌で感じる事ができた。負担と成果のバランスを考えると今後も事業を持続し、成果を得ていくうえで重要である。
- ・ もっと多くの子供たちに参加してもらえよう、プログラム数か実施地域を増やす(実施箇所が都市圏に集中しているように見受けられるので)。
- ・ 企画責任者の今後の励みとなるようなこと(継続表彰など)も考えていただけないだろうか？

《内容について》

多数意見

- ・ 高校生に大学で学ぶことの興味を持たせることができよかったと思う。
- ・ 受講生である小学生だけでなく、その保護者までもが非常に興味を持っていることが分かった。

その他意見

- ・ 普段は、見ることも使うこともないような生き物に触れたり、機械を使ったりして非常に子供達が興味深く活動していて、良い活動だと思う。
- ・ 実験の計画が甘く、時間内に終わることができなかった。丁寧に教えるにはある程度余裕のある実験内容にすべきだった。
- ・ 科研のテーマに直接関わる内容を折り込んで今回は実施できたがそれだと高校生(対象者)の興味と合致するかが難しい。

《受講生の理解度について》

多数意見

- ・ 小学生にも理解できるように専門用語はできるだけ使用しない工夫が必要であると思った。
- ・ 中学生・高校生では化学についての知識レベルにかなり差があり、一緒に同じプログラムを行うのはかなり困難であるように感じた。

その他意見

- ・ 小学生の発想の豊かさ、グループワークでの意見の活発さに驚かされた。

平成24年ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI  
実施者アンケートの主な意見・感想

感想・意見

《経費について》

多数意見

- ・ 予算の増額に期待する。この取り組みの展望に期待したい。
- ・ 予算執行に関してもう少し規制緩和していただきたい。いろいろ制約があってやり難い。
- ・ 夏休み頃に開催する場合は、時間的に余裕が無いので契約日を遡って早めに予算を使用できるようにして欲しい。

その他意見

- ・ 学校の授業では中々実験をする機会がないと、中学生が言っていた。今後も予算をつけて、子どもたちが科学に触れる機会を提供していただければと思う。

《その他》

多数意見

- ・ 中学生や高校生に科学の楽しさを知ってもらえる貴重な機会であり、有意義な事業である。
- ・ 実施することで教えることのむずかしさ、大切さを理解してくれるため、大学院生の教育にも有効である。

その他意見

- ・ 非常に有意義な企画だと思う。私も高校時代にこの企画に参加し、興味をひかれた。
- ・ 参加した子どものその後(科学系の進路に進んでいるのか)が気になる。奈良県内の実施件数が少ないので、県内の子どもの学力向上のためにも頑張りたい。
- ・ 実際に研究開発や現場で仕事をしている方から生の声を聞けるこうしたチャンスをもっと多くの子供たちに体験してもらえるようになればと思う。
- ・ プログラムの目的がもっと明確でもよいと思った。(将来の研究者を増やしたい、あるいは、多くの人に日本学術振興会の存在や科研費の存在、使い道を知ってもらいたい、他)それによってイベントの内容によりこまかな配慮や工夫ができたと思う。
- ・ 当日キャンセルの連絡が相次ぎ、連絡なしに欠席する者も複数名いた。そのようなことがないようにと申込み画面等で参加者へ周知してほしい。
- ・ 参加者を制限せずに大人から子供まで幅広く、またより多くの人にプログラムを体験してもらえる仕組みがあればよいと思った。
- ・ いろいろな地方の人が同じ内容のものを体験できるように、人気のあるテーマを選んで日本学術振興会が統一して各団体に実施してもらおうような”企画物”があってもよいのでは？